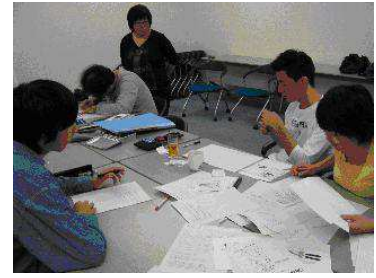




YA広報誌「OMAKEのいっぽ」の作成

目黒区立八雲中央図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 中学生・高校生
2	実施時期 : 4月1日～3月31日 編集会議 毎月第3土曜日開催 情報誌(7・11・3月発行)
3	概要 : 図書館に親しみをもってもらうことで図書館の利用促進、読書活動の推進を図るため、編集委員を公募し、図書館を利用するヤングアダルト世代の考え方を文面に反映させた情報誌を作成する。また、居場所づくりの一助とする。編集委員は、自分たち自身で文章やイラストを作成、編集し、発表する。OB・OGも参加し、学校や世代を超えた交流の場ともなっている。
4	<p>内容 「OMAKEのいっぽ」の歴史は古く、創刊は昭和59年6月。現在75号を発行準備中。1号の発行につき編集会議を4回実施している。各回の内容は以下の通り。</p> <p>第1回 特集等の内容及び各担当者の決定(名案・珍案・ダメモト案、様々なアイデアを皆で考え出す)</p> <p>第2回 文字原稿締め切り(「こんなの書いてみた!」元気な声が挨拶がわり)</p> <p>第3回 全原稿の締め切り(今日で締め切り!みんなの目が一番真剣な回)</p> <p>第4回 発行・配布(「自分の作品にうっとり」「もっと上手にできたかな…」出来栄に一喜一憂しながらも達成感を味わう)</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>力作の数々</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>編集部のマスコットくんと</p> </div> </div>
5	参加者の反応 情報誌の作成を通じた参加者同士の交流を図っており、編集会議は毎回、初めてでも参加しやすい明るく楽しい雰囲気。参加者各自が原稿作りやイラストの作成等自分の得意分野でリーダーシップをとりながら、発行を目標に作業をすすめている。
6	連携した諸機関 特になし